

## 令和3年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊新小学校 学校協議会

### 1. 総括についての評価

今年度も前年度に引き続き、コロナ禍による行事や活動の自粛によって、子供たちの教育活動に制限を設けなければならない1年間であった。しかし、そんな中でも「何か変わりにできないのか」と多くの場面で試行錯誤し、成果として現れた1年間であった。全国学力調査・大阪市学力経年調査では、調査対象の全学年が、国語科の大阪市平均を超え、また、どの教科も前年度より伸びがみられた。全国体力運動能力調査においても、大阪市平均・全国平均を大きく超えた。

十分に計画通りに進めたとは言い切れないが、コロナ禍でできない部分を補いながらの取組の中で、数値としてあらわれている点は、大いに評価でき、自己評価は妥当である。

### 2. 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

#### 年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- ①令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ②令和3年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上（H29:93% H30:90% R1:93% R2:93%）にする。
- ③令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同じく0にする。
- ④令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- ⑤心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。
- ⑥令和3年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（H29:83% H30:85% R1:83% R2:84%）にする。
- ⑦令和3年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を84%以上（H29:86% H30:83% R1:88% R2:84%）にする。

- ①いじめの認知件数は64件。そのうち、60件は解決したが、4件は、相手がわからなかつたり、今後も継続した見守りが必要であつたりする。92% ▲
- ②令和3年度は、94.4%。○
- ③関係機関に相談するような暴力行為は、0件であり0人。○
- ④令和3年度末で、8名。▲
- ⑤社会見学等の郊外活動は、実施が難しい面もあったが、オンラインでのゲストティーチャーを呼ぶなど、多様な体験活動ができた。○
- ⑥令和3年度は、86%。○
- ⑦令和3年度は、86%。○

## 年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- ①令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ③令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ④令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加 (H29:75.9% H30:72.7% R1:73.3% R2:66.5%) させる。
- ⑤令和3年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上 (H29:91% H30:94% R1:91% R2:93%) にする。
- ⑥令和3年度の校内調査における「ICTを活用した学習はわかりやすい」(H29:95% H30:95% R1:93% R2:95%)、「外国語活動は楽しい」(H29:87% H30:94% R1:92% R2:89%)の項目において、肯定的に答える児童の割合をともに90%以上にする。
- ⑦令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ2ポイント(回)、2ポイント(回)、2ポイント(cm)向上させる。
- ⑧令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を5・6年生対象に、前年度より2ポイント向上(令和2年度結果 5年生 男子…45ポイント 女子…45ポイント 6年生 男子…56ポイント 女子…51ポイント)させる。
- ①4年99.2p→99.9p 5年98.7p→99.3p 6年99.5p→98.7p  
6年生のみ前年度より下がっている。▲
- ②4年22.4p→16.7p 5年16.9p→12.3p 6年6.7p→11.7p  
6年生のみ前年度より増えている。▲
- ③4年31.3p→36.7p 5年20.3p→17.5p 6年18.3p→24.2p  
すべての学年で増加。特に6年生は著しい。○
- ④令和3年度は、76.65% ○
- ⑤令和3年度は、96% ○
- ⑥ICTは、98% 外国語は、92% ○
- ⑦⑧前年度より10p以上向上。成長分の伸びがあるので、経年としてとらえるのは不適当であった。そして、男子R1:55.7p→R3:53.7p 女子R1:55.5p→R3:54.7p(コロナ禍の影響で大阪市平均・全国平均とも大きく下がる)という結果であり、得点は下がっている。ただ、男女とも全国平均を上回っている。▲

## 4. 今後の学校園の運営についての意見

- 数年前に比べると、豊新小は大阪市と勝負できるようになっている。
- 学力の低位層の子供たちを救う取り組みを考えてほしい。そのうえで、全体的なベースアップができると思う。
- 以前は豊新の子どもたちは、意欲が高く、アンケートの結果がすごく高い。ただ、テストをすると、そうではなかった。それが、意欲だけでなく、実力も備わってきてている。

